

## 組立説明書

このたびはコイズミ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この組立説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく組立してください。  
 ご使用のまえには取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。  
 保証書はお買い上げ日、販売店名の記入を確認し、組立説明書といっしょに大切に  
 保管してください。

### 安全上のご注意（必ずお守りください）

●取り扱いを誤った場合に想定される危害・損害の程度を示しています



**警告**

「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。



**注意**

「傷害を負うまたは物的損害発生の恐れがある」内容です。

●お守りいただく内容を示しています



**禁止**

「行ってはいけない」内容です。



**必ず守る**

「行わなければならない」内容です。

### 注意

●組立および設置時の注意



禁止

組立および解体に電動ドライバーは使用しないでください。  
 →ボルト頭がつぶれて締め付け、取り外しができなくなる恐れがあります。



禁止

直射日光のあたる場所やヒーター、エアコンなどの温風が直接あたる場所への設置はおやめください。  
 →変形、変質、退色の原因となります。



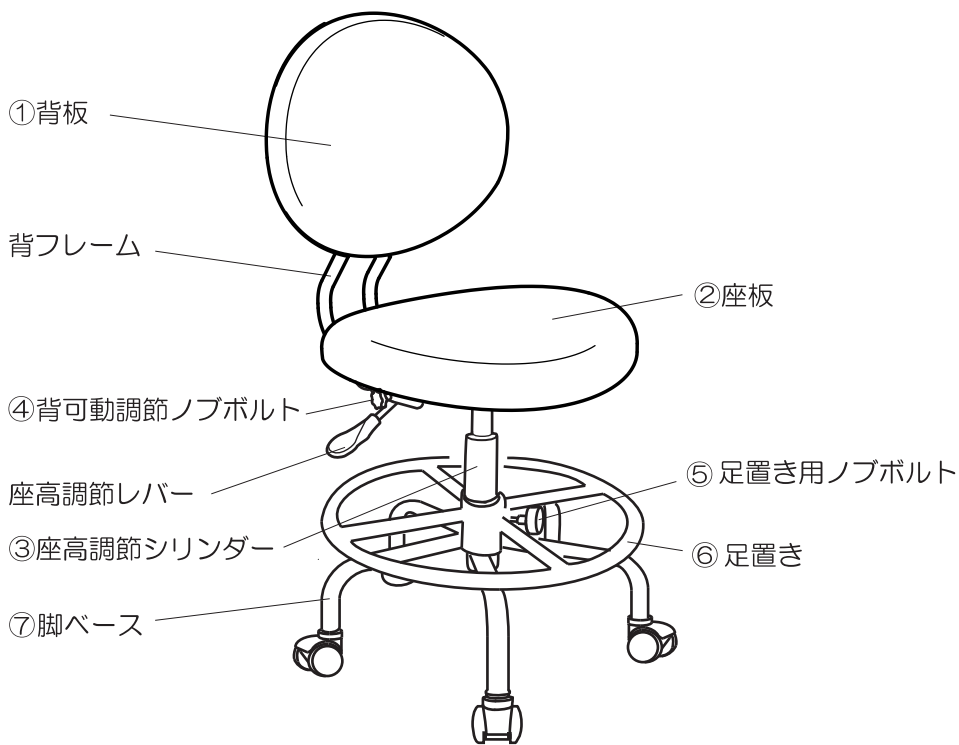
必ず守る

回転すは組立完成後に脚ベース、座高調節シリンダー、座板がしっかりと固定されているか必ず  
 確認してください。  
 →固定が不十分なままですと、イスを持ち上げた時に脱落してけがや破損する恐れがあります。

回転チェア

【品番】 ●CDY-610 MB

# 各部の名称



## 《構成部品》

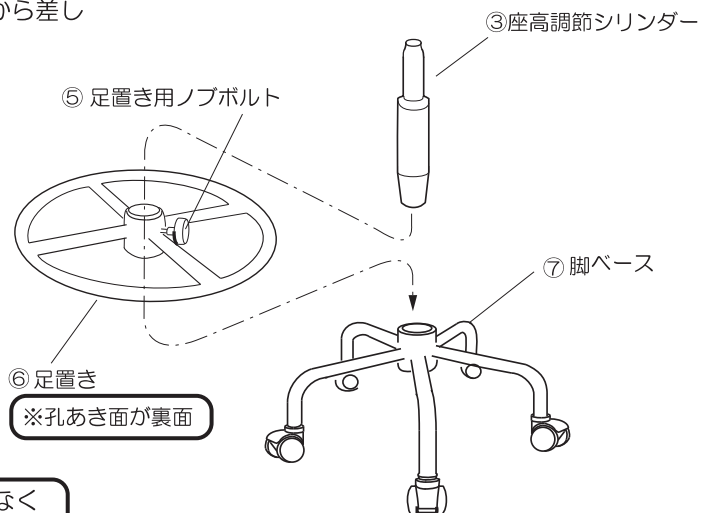
	部 品 名	数量
①	背 板	1
②	座 板	1
③	座 高 調 節 シ リ ン ダ ー	1
④	背 可 動 調 節 ノ ブ ボ ル ト	2
⑤	足 置 き 用 ノ ブ ボ ル ト	1
⑥	足 置 き	1
⑦	脚 ベ ー ス	1

イラストは実際の商品と多少異なる場合があります

# 組立方法

## 1. 脚部の組み立て

③座高調節シリンダーを⑥足置き表面の上（パイプに孔があいていない面）から差し込んだ状態で、⑦脚ベースの中央に上から差し込みます。



① 足置き固定の際は必ず足置き用ノブボルトが回らなくなるまで強く締め付けてください。  
→動いてケガをする原因になります。

② 足置きの上に立ち上がったり、飛び乗ったりしないでください。  
→落下、転倒し、ケガをする原因になります。

# 組立方法

## 2. 座の組み立て

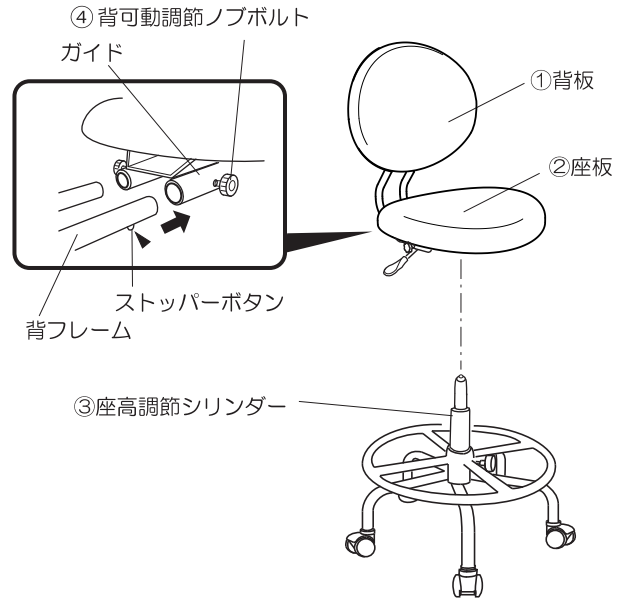
④背可動調節ノブボルトを緩めた状態で、①背板及び背フレームを②座板の下のガイドにストッパーボタンを押し込みながら差し込み、ボタンがロックされるまで押し込んでください。  
背の固定位置は、3. の組み立て終了後、④背可動調節ノブボルトで、お子様の体型に合わせて好みの位置で固定させてください。

## 3. 脚部と座板の組み立て

1. で組み立てた脚部の座高調節シリンダーの上に、2. で組み立てた座の裏面の穴に差し込んで乗せてください。

① 座板を下まで下げて体重をかけて強く座り、脚、シリンダー及び、座をしっかりと固定してください。  
→ 座板がはずれて、ケガ、破損の原因になります。

② 座板の上に立たないでください。  
→ 倒れて、ケガをする原因になります。



# 使用方法

## 《座板の高さ調整のしかた》

座ったまま座高調節レバーを持ち上げると座はさがり（※体重によってはこの限りではありません）、腰をうかせて座高調節レバーを持ち上げると座はあがります。適切な位置でレバーを離すと座板高が決まります。

① 座の上に立たないでください。  
→ 倒れてけがをする原因になります。

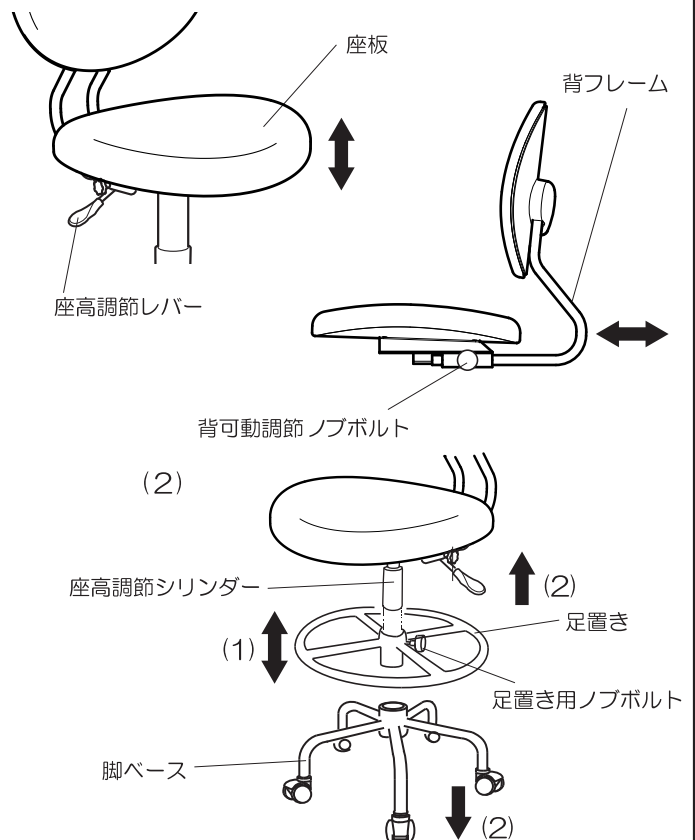
## 《背板の前後調整のしかた》

座板下、左右 2 か所の背可動調節ノブボルトをゆるめて背フレームを前後に動かします。  
お子様の体型に合わせて適切な位置で背可動調節ノブボルトを締めつけて固定します。

## 《足置きの高さ調整・着脱のしかた》

- (1) 足置きは座高調節シリンダーに沿って上下させ、適切な位置で足置き用ノブボルトを締めつけて固定します。
- (2) 不要になった場合は足置き用ノブボルトを左に回してゆるめ、シリンダー下方に抜き取ります。（この際、いったん脚ベースも取りはずす必要があります。）

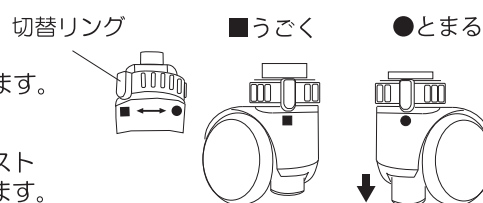
※脚ベースの取りはずしがたい場合は、座高調節シリンダー底部の外周部に当て木などを当てて、ハンマーなどで強くたたいてください。この場合底部中央の金具をたたくとシリンダーが破損しますので注意してください。



## 《ストッパー切替レバー付キャスターについて》

切替リングを回し  
レバー先を■側に合わせますと、  
ストッパーが掛からず車輪が回転します。

レバー先を●側に合わせますと、  
荷重でキャスターの軸が沈み込んでスト  
ッパーが掛かり車輪の回転が止まります。



① 着座している状態でリングを回さないでください。一指をつめてケガをする原因になります。

○ お子様の足が床に着かない間は、ストッパーが掛かる状態での使用をお勧めします。その際、安全のため全てのキャスターのストッパーが掛かる状態でご使用ください。

○ 体重が軽い場合、車輪の回転止めが作動しない場合があります。

